



ニュースレター

2024 年 1 月 11 日配信版

イスラエルからシャローム！戦時下での1週間が過ぎ去り、いつものように、いくつかのハイライトもあれば、いくつかの悲しみもありました。そんな中でも、イスラエル国民は相変わらず、私たちを取り囲む敵を倒すためにこれまでと同様、献身的に取り組んでいます。残念なことに、私たちの同盟国の決意は弱まりつつあるようです。後述するように、新たな敵が立ちはだかるなか、私たちが孤立無援となる日はそう遠くないかもしれません。彼らの武器は、爆弾や銃弾ではなく、政治と圧力、制裁と差し押さえ、判決と孤立となるでしょう。先週、私は南アフリカがハーグの国際刑事裁判所（ICC）に提訴したイスラエルの大量虐殺を非難する裁判について触れました。このような非難は馬鹿げていますが、それが肯定されても驚きません。ICC は国連（UN）の機関であり、国連にとってイスラエルを糾弾することほど喜ばしいことはありませんから。

しかし、ユダヤ人は単独で行動することに慣れていません。何千年の間、私たちは単独で行動してきました。唯一の違いは、私たちが国家として孤立するのは初めてかもしれないということです。もしそうなるなら、それはそれで構いません。私たちはこれまでも世界の剣の先に立ってきました。それでもここでは団結し、これまで以上に国民として強くなりました。この事実の功績は人間によるものではなく、本質的に神によるものです。

イスラエルがこの世で完全に孤独になることは決してありません。神は選ばれた民と契約を結ばれ、それは今日まで存続しています。「しかし、アミール、イスラエルは世俗的な国で、いまだにメシアを拒んでいるよ。」その通りです。しかし、神がイスラエルと契約を結ばれたとき、その契約には何の制約もありませんでした。これは預言者エレミヤを通して強調された真理であり、そこには次のように書かれています。

エレミヤ 33 章 25-26 節

「もしも、わたしが昼と夜と契約を結ばず、天と地の諸法則をわたしが定めなかったのであれば、わたしは、ヤコブの子孫とわたしのしもべダビデの子孫を退け、その子孫の中から、アブラハム、イサク、ヤコブの子孫を治める者を選ぶということはない。しかし、わたしは彼らを回復させ、彼らをあわれむ。」

ですから、実際のところ、私は間違っているかもしれません。ここで注意点があるようです。昼も夜もなくなり、神が定めた宇宙の自然システムがすべて停止するとき、そのときこそ契約が終わるときです。しかし、今朝太陽が昇ったという事実は、神の契約がまだ有効であり、イスラエルが依然として神に選ばれた民であることを示すのに十分です。そこに私の希望と平安があります。私たちが国家としてどのような事態に直面しようとも、神が本当に私たちの味方でいてくださるため、私たちはそれを乗り越えることができます。

中東

ガザ

カン・ユニスでは、いまだに激しい戦闘が続いている。ここはガザを構成する 5 つの地域の中央地域で、イスラエル国防軍（IDF）が、現在も国内にいるハマスの指導者らがいると信じている場所だ。エジプト北東部国境に近いガザ西部のブレイジ地区では、大きな発見があった。[民間人や人道支援センターの下に隠された、これまでで最大のハマスの地下兵器製造・貯蔵施設](#)を IDF が発見。この場所では、イスラエル北部に到達可能な長距離ミサイルが組み立てられ、ハマスの配備準備が整うまで保管されていた。しかし、ガザからのニュースがすべてポジティブだったわけではない。月曜日には、[異なる 3 つの事件が発生、9 人のイスラエル軍兵士の命が奪われ](#)、そのうち 6 人が 1 回の爆発で命を落とした。この戦闘でさらに 8 人の IDF 隊員が負傷した。イスラエルは、祖国の存続のために戦っていた勇敢な兵士たちの死を悼んでいる。

もうひとつ、ガザで起きた事件を取り上げなければならない。日曜日、ドローン操縦士を標的にした作戦中に、アルジャジーラのジャーナリスト 2 人が殺害され、即座に、世界中に怒りと悲しみが広がった。アントニー・ブリンケン米務長官は、この犠牲に「心を痛めている」と述べた。しかし、[この 2 人の「ジャーナリスト」がハマスとパレスチナ・イスラム聖戦（PIJ）の一員](#)であり、IDF に対してドローン进行操作していたことが判明した。これはハマスの行為の典型的なものである。彼らは、ガザに利他的な職業が残っている

という概念を破壊した。その代わりに、私たちが目にしたのは、テロリストの医者、テロリストの教師、テロリストのジャーナリストだ。学校、モスク、病院はすべて、ハマスと彼らの武器を保護するために使われ、地下トンネルのシャフトもある。負傷者を運ぶはずの救急車さえ、武器や弾薬の運搬に使われている。ハマスたちは、世界のいたるところで善良であるはずのものを、徹底的に墮落させている。これはおぞましく、悲劇的だ。

レバノン

月曜日はレバノンのヒズボラにとって不運な日だった。精鋭ラドワン部隊のトップであり、南部におけるヒズボラの行動を指揮する重要なリーダーであった[ウィッサム・アル・タウィルが乗った車が IDF の爆発物によって破壊](#)され、彼は死亡した。アル・タウィルの死は、これまでに殺害されたテロ組織の最高レベルのメンバーであり、彼らの活動にとって深刻な打撃である。この標的殺害は、[ヒズボラがハマスの大物サレハ・アルアルーリ暗殺への報復としてイスラエル北部に 62 発のロケット弾を発射](#)した 2 日後に行われた。イスラエルもヒズボラも兵士と武器システムを国境に向けて移動させており、まもなく全面戦争が始まることを誰もが予想、準備している。アル・タウィル殺害と戦争の状況については、月曜日の短い[2024 年 1 月 8 日ニュース速報](#)で詳しく説明している。

シリア

先週、レバノンでハマスの VIP であるサレハ・アル・アロウリが標的として殺害されたことは前述したが、IDF は月曜日も引き続きテロ集団の指導者の間引きを行った。ここ数週間、シリアからイスラエルへのロケット弾発射の責任者であるハッサン・アカシャは、シリア南部の町バイト・ジンで、[非公開の方法によって永久に任務から外された](#)。ハマスの指導者たちは、世界のどこにいても安全な人間は一人もいないということをやや理解し始めたということだろうか？

ヨルダン川西岸

ヨルダン川西岸一帯に潜伏しているハマスと PIJ のテロリストを追跡・逮捕するため、イスラエル国防軍によるヨルダン川西岸地区への連日の急襲が続いている。一方、[アントニー・ブリンケン米国務長官](#)は昨日、ヨルダン川西岸のラマラでパレスチナ自治政府のアッバス議長を訪問した。明らかにブリンケン国務長官は 2 国解決案を既成事実と捉えているようで、88 歳のアッバス議長に、戦争終結後にガザを統治できるよう PA の改革を促した。

アメリカ

前回の記事で紹介したブリンケン国務長官のヨルダン川西岸訪問は、イスラエルのアイザック・ヘルツォーク大統領、ベンヤミン・ネタニヤフ首相、イスラエル・カッツ外相と会談した翌日に行われた。彼の議題は？ [「おいおい、みんな、これをまとめられないのか？」](#) 会談後の記者会見でブリンケンは、南アフリカによるイスラエルへのジェノサイド（大量虐殺）非難を批判し、将来の 2 国解決策をほのめかし、イスラエル政府は戦争の遂行と戦後のガザでのパレスチナ人の活動をどのように認めるかについて、これから難しい選択を迫られると主張した。国務長官は、11 月の選挙前に敵対行為を終わらせることを切望しているボスの代理としてやってきた。世論調査によると、同氏は復帰候補の可能性のあるドナルド・トランプをリードしており、ミシガン州奪取を巡る戦いで党の極左勢力をなだめるだけでなく、ディアボーンのイスラム教徒の票を固めることに必死だ。月曜日にサウスカロライナの教会でジョー・バイデン大統領が語ったところによると、彼は「ガザ地区からの撤退と大幅な撤退を促すためにイスラエル政府と密かに協力してきた」という。彼が野党政府のメンバーに言及しているのでなければ、イスラエルをガザから撤退させる上での彼の成功は、彼が主張しているよりもはるかに小さいと私は予想する。正直に言うと、私はワシントン D.C.にこれほど弱い政権を置くことによる世界的な影響を非常に懸念している。バイデンが最終的に退任する頃には、イランが核兵器の野望を達成し、中国が台湾を奪おうとし、ロシアがウクライナとの戦争を大幅に激化させているかもしれない。

紅海

[イエメンのフーシ派によるこれまでで最大の行動が、火曜日に発生](#)し、米英の軍艦が無人機 18 機、対艦巡航ミサイル 2 機、対艦弾道ミサイル 1 機を撃墜した。イランが支援する代理テロリスト集団は、ガザでの戦争が始まって以来、船舶や軍艦を標的にしてきた。「これは持続不可能な状況だ」と英国国防長官グラント・シャップスが宣言。「これを続けてはならない。また許すこともできない。」なぜイギリスとアメリカが、この厄介なテロリスト集団に大混乱を引き起こし、海運会社に多大な損害を与えることを許したのかは不明だ。

韓国

金曜、北朝鮮の指導者金正恩が、またしても物事を爆破させて楽しんでいるのが目撃された。残念なことに、今回は、南北の海域を隔てる海上緩衝地帯に向けて、[2 時間の間に 200 発以上の砲弾を発射](#)。この明らか

な挑発に対抗して、韓国は独自の実弾射撃訓練を実施した。 両国間の緊張は高まり続けており、このような事件は状況を改善するものではない。

ミニストリー

2024 年 1 月 27 日にカルバリーセントラル OC で開催されるプロキシミティ 2024 の登録が始まりました。バリー・スタグナー牧師とマイク・ゴレイ牧師が直接教え、私はイスラエルから「衛星中継」します。私たちは預言の時間軸のどこにいて、次にどこへ行くのでしょうか？これらの質問にお答えします。 ぜひご参加ください！ [ここからお申し込みください!](#)

2023 年のアラスカ・クルーズ・カンファレンスが大成功を収めた後、私たちは再び船上で教える準備をしています！この機会に、Discovering Daniel & Revealing Conference を 2 つの異なる会場で開催します。一つ目は、2024 年 10 月 19 日から 29 日にかけて行われる[地中海クルーズ](#)です。2 つ目は、2025 年 1 月 18 日～25 日に[カリブ海](#)で開催されます。両クルーズの参加登録は、明日 1 月 12 日午前 8 時（太平洋標準時）に開始されます！すぐに満席になることが予想されますので、お早めにお申し込みください。

[私の Telegram チャンネル](#) – 一日を通してニュースが絶え間なく流れます。私のチャンネルに登録し、何が起きているのかを正確に知ることが出来ます。

フェイクニュース、デタラメ科学、腐敗した政府、分裂したクリスチャン.....私たちの時代には欺瞞が蔓延しており、国家と教会に大混乱をもたらしています。金曜日午後 12 時（太平洋標準時）に初公開される私の新しい教え「[The Days of Deception](#)」([日本語字幕「欺きの時代」](#))では、広く蔓延している欺瞞の起源を明らかにし、次に今日攻撃を受けている 7 つの重要な真実を説明します。救いからイスラエル、終末の時代における神の計画まで、曖昧にされている真実に光を当て、なぜ教会がこれまで以上に神の御言葉に立たなければならないのかを語ります。

[Discovering Daniel](#) - 中東で起きていることの多くが、旧約聖書のダニエル書と結びついています。この本は、私のベストセラー『[Revealing Revelation](#)』の続編のようなもので、2024 年 5 月 7 日の発売に向けて予約受付中。

主を賛美します。CONNECTの建設が始まりました！神のビジョンと皆さんのお祈りとサポートがどのように組み合わせさせて、このプロジェクトが動き出したかを見るのは何という喜びでしょう。CONNECTが運用開始されれば、イスラエル国内外の人々に素晴らしい宣教が行われることを楽しみにしながら、引き続きお祈りください！

主の来臨を待ち望む。

Amir Tsarfati

ビホールド イスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>

日本語の聖書箇所は特記がされていない限り新改訳 2017 より引用しています。

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

メッセージの無断転載を固く禁じます。

Copyright © ビホールド・イスラエル All Rights Reserved.

